

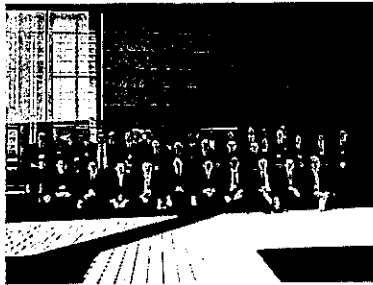
2015年3月30日(月曜日)

日刊 日本金属通信

東鉄連の「羽田クロノゲート」見学会

物流施設と老人ホーム、40人が参加

東京鉄鋼販売業連合会（齊藤榮一会長）栄鋼管社長は26日都内で、日本最大級の物流施設「羽田クロノゲート」とワタミの介護が運営する有料老人ホーム「レストヴィラ羽田」を巡る見学会を開催し、40人が参加した。羽田クロノゲートは羽田空港近くに立地するヤマト運輸の大型物流拠点で、レストヴィラ羽田は



羽田クロノゲート

村山鋼材のグループ会社所有地に開設する老人ホーム。それぞれ90分と50分の見学を楽しんだ参加者からは「取引先との話題によく出ていた物流施設に関心があった」「老人ホームを見学したのは初め

てで、とても勉強になった」といった声が漏れていた。

見学会の開催にあたり、事業企画委員会の岡部耕喜トレンドグループ長（東成鋼管社長）が「今後はイスラム教の勉強会や日本銀行の見学会を予定しているが、トレンドグループでは興味深いテーマの講演会の開催や話題になっている場所に行ってみたいと思っている。皆さんからの意見をどしどし受け付けたい」と挨拶。

続いて齊藤会長は「岡部さんはいろんなアイデアを出す方で、事業企画委員会にいろんな企画をやってもらっている。これからも企画が続くので、ぜひ参加いただきたい」と呼びかけた。

また、約800坪の敷地に建つ「レストヴィラ羽田」について村山鋼材の村山和雄社長は「ここは3年前まで40年近く稼働していた当社工場があった場所。大型レベラーラインがあったが、それを浦安に集約した後、グループ会社が有料老人ホームを建設した。運営会社に土地・建物を貸しているかたち」と述べ、「全100室のホームにはまだ余裕があるとのこと。ご用命があればお尋ねください」と笑いを誘った。